



伝 伝統的なイメージの強い漆という素材を用いながら、パブリックアートをはじめとする新たな造形表現を先導してきた栗本は、国内外において数多くの展示を実施し、漆造形の魅力を広く世界に発信してきました。同時に、それぞれの土地で出会った文化的エッセンスを積極的に吸収し、自身の表現の一部としてきました。「漆という素材に今の時代にしか見出せない価値を作りたい」と語る栗本。本展では立体、平面、器物を中心とした栗本の代表的な作品を一堂に集め、過去から現在に至る多様な表現を紹介します。長い歴史の中で育まれてきた伝統的な美を継承しつつも、新たな発見に満ちた漆造形の世界をご覧ください。



5 《荘厳Ⅱ》

2007年／ボンネットに漆塗り、乾漆粉蒔絵、螺鈿（撮影 斎藤さだむ）
車のボンネットに着物の形や文様のイメージを重ねた作品。

6 《祈る形Ⅲ》

1993年／乾漆に黒漆塗り（撮影 斎藤さだむ）

様々な宗教で手を合わせて祈りの形とすることに注目した初期の立体作品。発泡スチロールを原型に用いている。



INFORMATION

大阪市立住まいのミュージアム
大阪くらしの今昔館

TEL：06-6242-1170

FAX：06-6354-8601

<https://www.osaka-angenet.jp/konjyakukan/>

〒530-0041 大阪市北区天神橋6-4-20
住まい情報センタービル8階

休館日 火曜日 臨時休館あり

開館時間

午前10時～午後5時（入館は4時30分まで）

入館料（天井改修工事期間9/26までの料金）

一般：400円／団体300円

高大生：300円／団体200円

※8階常設展と企画展をご覧ください。

※団体は20名以上

※中学生以下、障がい者手帳・ミライOID等持参者は無料

お知らせ

天井改修工事のため閉鎖中の9・10階を含め、全フロアを2022年10月29日(土)より再開します。

アクセス

- Osaka Metro堺筋線・谷町線、
阪急電鉄「天神橋筋六丁目」下車3号出口直結
- JR「天満」下車商店街を北へ徒歩7分
- 阪神高速道路守口線
長柄出口から都島通りを西へ500メートル



新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施しています。
最新情報をホームページでご確認ください。



大阪市立科学館

アネロイド型自記気圧計

天気予報でもおなじみの気圧とは、空気の重さによる圧力のことで、気圧が低くなると曇りや雨になることが多く、気圧が高くなると晴れることが多くなります。そのため気象観測では気圧の測定が欠かせません。写真の資料は、かつて気象観測で用いられていたアネロイド型自記気圧計です。アネロイドとはギリシャ語で、液体を使わない、という意味です。気圧計には古くから水銀気圧計が使われてきました。これに対しアネロイド型の気圧計は、内部を真空にした管が気圧の変化で膨らんだり凹んだりすることを利用して、気圧を測定します。

大阪市立科学館 学芸員 江越航

※今回ご紹介した資料は、大阪市立科学館展示場4階「大阪管区気象台140周年記念 気象の科学展 ～天気予報ができるまで～」にて6月21日(火)から9月4日(日)まで公開します。最新情報はホームページにてご確認ください。

住所 〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-1 TEL 06-6444-5656 FAX 06-6444-5657
ホームページ <https://www.sci-museum.jp/> アクセス ●Osaka Metro四つ橋線「肥後橋駅」3号出口から西へ約500m ●京阪電車 中之島線「渡辺橋駅」2号出口から南西へ約400m



アネロイド型自記気圧計

大阪市立の博物館・美術館・動物園 **Osaka Museums** <https://ocm.osaka>

- 大阪歴史博物館
- 大阪城天守閣
- 大阪市立自然史博物館
- 大阪市立美術館
- 大阪市立東洋陶磁美術館
- 大阪市文化財協会
- 大阪市立科学館
- 天王寺動物園
- 大阪中之島美術館
- 大阪くらしの今昔館